

血液グループ

2020年6月更新

特徴

○ 日本小児白血病研究会 (JACLS)、日本小児白血病/リンパ腫研究グループ (JPLSG) に所属し、全国規模のグループスタディーに参加し、多くの臨床試験を実施している。

また、東海小児血液懇話会、東海小児造血幹細胞移植懇話会、等の症例検討会に参加し、最新の治療法、稀少疾患の診断・治療、についての知見を深めている。

○ 最重症例は高次医療機関に転院搬送し治療を依頼しているが、多くは、全国統一プロトコールに従い化学療法を行っている。

2015年1月～2019年12月 5年間

疾患	入院実数	通院実数
特発性血小板減少症 (ITP)	25例	25例
急性リンパ性白血病 (ALL)	9例	9例
急性骨髄性白血病 (AML)	5例	2例
悪性リンパ腫	2例	1例
遺伝性球状赤血球症	4例	8例
血球貪食性リンパ組織球症	4例	6例
自己免疫性溶血性貧血	1例	1例
一過性骨髄異常増殖症 (TAM)	2例	2例

小児白血病(JACLS,JPLSG)の治療成績

ALL—5年無病生存率—(JACLS ALL02)

標準危険群	高危険群	超高危険群
89.1%	83.8%	59.4%

AML(JPLSG AML05)

5年全生存率	5年無病生存率
75%	61%